

安全データシート

1. 製品及び会社情報

[製品の名称]	製品の名称	ルートイット シラン Silane
[会社情報]	会社名	ペントロンジャパン株式会社
	住所	〒140-0014 東京都品川区大井 4-13-17-5F/6F
	電話番号	03 - 5746 - 0316
	FAX 番号	03 - 5746 - 0320

2. 危険有害性の要約

物理化学的危険性	引火性液体	区分 2
健康有害性	急性毒性	区分 3
	皮膚刺激性	区分 2
	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分 2A
	生殖毒性	区分 1B
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 1

絵表示又はシンボル



注意喚起語
危険有害性情報

危険
引火性の高い液体および蒸気
飲み込んだり、皮膚に接触したり、吸入すると有毒
重度の眼刺激や皮膚の炎症を引き起こす
臓器に損傷を与える
胎児にダメージを与える可能性がある
眠気やめまいを引き起こす可能性がある

注意書き

【安全対策】
使用前に添付文書入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
熱、高温の表面、火花、裸火、その他の発火源から遠ざけること。-禁煙
容器をしっかりと閉めること。
防爆型の電気設備、換気設備、照明設備、資材運搬設備を使用すること。
火花が出ない工具のみを使用すること。
静電気放電に対する予防措置を講じること。
蒸気を吸い込まないこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
適切な保護眼鏡/保護手袋/保護衣/保護顔面を着用すること。
眼、皮膚、衣類につけないこと。
取扱後は、手をよく洗うこと。
環境への放出を避けること。
屋外または換気の良い場所のみで使用すること。

【応急措置】

皮膚(又は髪)に付着した場合:直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。
皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
皮膚の炎症や発疹が生じた時は医師の診察を受けること。
飲み込んだ場合:水で口の中をよく洗浄する。痛みが続く場合は、直ちに医師の診断を受けること。
吸入した場合:被災者をただちに空気の新鮮な場所に移動さし、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪くなったときは医師の診察を受けること。
眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
目の炎症が続く場合は、医師の診察を受けること。
気分が悪い場合:医師の診断、手当てを受けること。

【保管】

本品は、乾燥した換気の良い室温(4~25℃)で保管し、直射日光を避けること。施錠して保管すること。

【廃棄】

使用後は「廃棄物処理法」に従い、適切に処理すること。

国・地域情報:

国内法は第 15 章「適用法令」を参照のこと。

3. 成分の組成情報

単一製品・混合物の区別: 混合物

成分名	CAS No.	化審法 No.	名称を通知すべき有害物
メタノール	67-56-1	2-201	別表第 9 の 560
その他	-	-	-

4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
呼吸が困難な場合は、有資格者が酸素を投与すること。呼吸が止まっている場合は、人工呼吸を行うこと。直ちに医師に連絡し、診察を受けること。

眼に入った場合 直ちに流水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外して洗浄を続けること。直ちに眼科医の診察を受けること。

飲み込んだ場合 無理に吐かせないこと。水で口の中をよく洗浄する。意識を失ったり、けいれんを起こしている人に対しては決して口から何も与えないこと。痛みが続く場合は、直ちに医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合 多量の水で洗うこと。暴露による刺激や症状が現れた場合は、医師の診断、手当てを受けること。汚染された衣類は再使用する前に洗濯すること。

5. 火災時の措置

消火剤 周囲の火災に適した消火剤を使用する。
火にさらされた容器は水で冷やしてください。

消火を行う者の保護 化学物質が使用又は保管されているエリアでは、適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。消火活動に使用された水が下水道や自然水路に流入するのを防ぐこと。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 関係者以外の立ち入りを禁止する。適切な保護服と保護具を着用すること。粉塵や蒸気を吸い込まないこと。

環境に対する注意事項	河川、水路や下水に流れ込ませないように注意すること。
除去方法	迅速な清掃と撤去を行うこと。火花防止工具および防爆装置を使用すること。不燃性の吸収材料で吸収し、密閉できる空容器に回収すること。少量の液をこぼした場合は水で薄めて拭き取ること。大量の流出の場合は風上から作業を行うこと。
追加情報	切削作業などの際には、粉塵による人体への影響を避けるため、局所吸塵装置のあるところで行うこと。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い注意	目、皮膚、衣類に付けたり、粉塵や蒸気を吸入しないように必要に応じて適切な保護具を着用すること。取扱い後は石鹼と水でよく洗うこと。
保管注意	本品は、乾燥した換気の良い場所(4～25℃)で保管し、直射日光を避けること。 歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	局所排気装置、手洗い・洗顔設備、安全シャワー、洗眼器等
保護具	呼吸用保護具 粉塵が発生する場合は、防塵マスクを着用する。 手の保護具 保護手袋、眼の保護具 保護眼鏡

9. 物理的及び化学的性質

外観等	透明な液体
物理的状态	液体
色	無色
臭気	アルコール臭
臭気閾値	データなし
pH	データなし
融点	データなし
沸点	65℃
引火点	12℃
蒸発速度	データなし
燃焼性(固体、気体)	データなし
下部および上部爆発(可燃性)の制限	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度	1.11
相対密度	0.8
溶解度	水に溶解
水への溶解度	データなし
分配係数:n-オクタノール/水	データなし
発火温度	470℃
SADT	データなし
粘度	データなし
密度	1.4 g/cm ³

10. 安定性及び反応性

安定性	通常条件では安定。
混触禁止物質	酸化性物質、還元性物質、湿気

11. 有害性情報

発がん性	発癌性あるいは発癌の可能性のある物質としてはリストされていない。
------	----------------------------------

許容濃度 設定されていない。
 摂取経路 吸入(ダストの形で)/経口摂取、皮膚や目。

12. 環境影響情報

水生環境に有害として分類されます。環境への放出は避けるべきです。

分解性： メタノールは容易に生分解されます。
 蓄積性： 生体蓄積の可能性は低いです。
 魚毒性： データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄の方法 診療使用前は、通常の産業廃棄物と同様に取り扱う。
 その他関係法令の定めるところに従う。

14. 輸送上の注意

国内規制 船舶安全法、航空法、消防法の規定に従う。
 国際規則 各国の規制に従う。
 注意事項 輸送前に容器の破損、腐食、漏れがないことを確認する。
 転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

法規制情報は作成年月日時点に基づいて記載されております。事業場において記載するに当たっては、最新情報を確認してください。

労働安全衛生法 名称等を通知すべき有害物（法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9）
 （政令番号 第 282 号、ジベンゾイルペルオキシドとして）
 （政令番号 第 312 号、二酸化ケイ素として）
 （政令番号 第 311 号、シランとして）
 消防法 非該当
 毒劇物取締法 非該当
 PRTR 法 非該当

16. その他の情報

本記載内容は、現時点で弊社が入手した資料・情報・データに基づいて作成しておりますが、新しい知見により改訂されることがあります。

注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであって、特殊な取り扱いの場合には、十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

以上は情報提供であり、個々の用途に対する本品及び本記載内容の適合性を保証するものではありません。

改訂履歴

00 2016 年 8 月 30 日 初版
 01 2023 年 12 月 25 日 第 2 版

JCIA BIGDr（一社）日本化学工業協会「化学物質リスク評価支援ポータルサイト」HP
 職場のあんぜんサイト>安衛法名称公表化学物質等 厚生労働省 HP
 NITE 化学物質総合情報提供システム nite（独立行政法人 製品評価技術基盤機構）HP
 GHS 分類結果データベース nite（独立行政法人 製品評価技術基盤機構）HP
 GHS 混合物分類判定システム 経済産業省 HP
 GHS モデル MSDS 情報 中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター HP